

編馬数下竹

文學遺跡辭典

編歌詩

東京堂出版

文学遺跡辞典 詩歌編

定価 1200 円

昭和43年 5 月20日 初版印刷

昭和43年 5 月31日 初版発行

編 者 竹 下 数 馬

発 行 者 岩 出 貞 夫
東京都千代田区神田錦町3の5

印 刷 者 澤 村 嘉 一
東京都板橋区志村1-11-1

発 行 所 株式会社 東京堂出版

東京都千代田区神田錦町3の5

電話 東京〔03〕(291) 8226~7

振替 東京 270 番

は し が き

万葉歌人をはじめ能因・西行・芭蕉らが旅をし各地の風物にふれてすぐれた詩歌を残したことは人のよく知るところである。今、それらの土地を訪ねて古人をしのび、感動を新たにすることは文学に心を寄せる者にとって非常なよろこびでもある。さらにまた、芭蕉・蕪村・一茶・良寛などの出生地やゆかりの地を訪ねて彼等の文学がどのような環境から生まれたのであるかを知ることが文学作品を理解する上にきわめて有意義であることがわかる。

人はこれらの文学遺跡を知るに及んで文学と風光・風土との結びつきがいかに密接なものであるかに思い至るであろう。文学の遺跡はまた文学のふるさともあるわけである。

近時、国土開発の声とともにこれらの文学のふるさとも次第にむかしの面影を失いつつある。むかしの詩人たちの接した美しい風景をできるだけ保存しておきたいというのが現代に生きるわれわれの切なる願いであることはいうまでもあるまい。

ヨーロッパを旅行してみると名高い芸術家の像が公園や広場などに建っているのが目につく。シェークスピアやゲーテなどの人間像はあたりを払って人々を威圧しているようにさえ見える。

西行や芭蕉や良寛のようにわが国民に親しまれている文学者についてみるに彼の地にあるような巨大な像などはどこにも見る事ができない。あるものは祠堂の中にひそかにまつられた木像か歌碑か句碑のたぐいであるにすぎない。歌碑や句碑にしたところが、その多くは自然石に草書体の文字で書かれてあり周囲の山や川や草や木と調和を乱さないように建てられているだけである。自然と調和し、それと合一しようとするところに日本人の指標があり、日本の文学のめざすところもそこにあるからなのであらう。

古人が各地を旅したのも、すぐれた風光に接することによってそこに神を見、神や自然と一体になることを人生の目的としたからであつたのであらう。歌枕という言葉は歌によまれた名所などころであるとともに歌をよむ上での必携書という意味でもあつた。歌枕の書を持って旅をするか、または旅の気分にあつたかして創作することが日本文学の一つの伝統となつたのも故なしとしない。『おくのほそ道』をはじめとする芭蕉の紀行もこの伝統に根ざすものであり、旅は文学の実習であり、人生の修業の道でもあつた。

歌枕やそれに準ずる地名を調べ、それらが過去においてどのような意味をもち、現在どのような実状にあるかということは文学のあり方について考えようとする者にとって大きな関心事でなければならぬ。

われわれは、このような観点から古典文学にあらわれた地名を拾いあげ、それらの土地において古人がどのような詩歌を残しているかを調査してみたいと思つた。資料集めのため国歌大観・

国歌大系・俳書大系などを持参して上州の山の家で合宿生活をしたことも今はなつかしい思い出となった。おびただしい資料にうずもれ、それらの整理にあけくれしているうちにいつしか十年の歳月が過ぎ去っていった。

文献による資料だけでは十分ではなく実地調査が必要なことはいうまでもないことであり、各地の文学遺跡を歴訪して写真撮影・拓本採集・スライド作成に汗を流したこともしばしばであった。なお、この間、ヨーロッパ各地の文学遺跡を訪ねる機会に恵まれたことも幸せであった。

明治以後、わが国にとりいれられたヨーロッパの文学と、わが国伝来の文学との違いを改めて考えてみることは今日すこぶる大切なことのように思われる。この辞典は、そういうことを考える上にも何らかの示唆を与える役割を果たすことができるであろう。

終わりに、辞典編集に当たって多くの方々のご協力を得たことを記しておきたい。田尻嘉信、原子朗、白井忠功、入江晴美の諸氏は直接執筆に当たって非常な努力を払われた。全国各地の神社仏閣、公共図書館、教育委員会などから寄せられたご好意も忘れることができない。

われわれは万全を期して事に当たったつもりではあるが、なお遺漏がないとはいいきれない。大方のご教示を賜わることができれば幸いである。

昭和四十三年四月二十一日

編 者

執筆分担

東北・関東・中部

近畿(京都・滋賀・大阪中心)

近畿(奈良・三重・和歌山中心)

中国・四国・九州

文学碑一覧

文学地図

竹下数馬

田尻嘉信

原子朗

白井忠功

竹下数馬

入江晴美

竹下数馬

白井忠功

凡例

△本書は、わが国の古典（詩歌）にゆかりのある文学遺跡につき作品を付して解説したものである。記紀歌謡や万葉集から近世の詩歌に及ぶ作品にあらわれた地名や歌枕などを取りあげている。

△項目は、五十音順に配列してある。地域別に検出しようとするときは巻頭の目次に従うと便利である。

△解説文には、できるだけ歌碑・句碑・詩碑・記念館などを記入し、読者がその地を訪れるときの手引書の役をも兼ねるようにした。また現在の交通機関や順路を示しておいた。

△見出しの地名は、ひらがな（現代かなづかい）、漢字書きの順序とし、歴史的かなづかいをその次に小さく表記した。

△作品は、原則として（イ）記紀歌謡 （ロ）和歌 （ハ）俳諧 （ニ）歌謡（中古以降）の順に並べることにし、それらをできるだけ年代順に並べるように配慮した。和歌については万葉集・勅撰集・私撰集・私家集の順とした。

△各項目解説のあとに列挙する作品については、和歌の場合は歌集名・巻数（万葉集・勅撰集）・作者名を記入した。万葉集や勅撰集については国歌大観番号を付すべきであ

るとも考えたが他との振りあいを考えあえて割愛した。俳諧の場合は作者名のみとした。作品の数は原則として和歌は十首、俳諧は五句までとした。

△同じ地名で所属国名が異なる場合にはそれぞれ別項目として扱った。

△歌人・詩人の場合は姓名を表記することにした。人麻呂・人丸などは柿本人麿に統一した。俳人の場合には姓を省いた。松尾芭蕉は芭蕉とした。

△和名抄、延喜式、風土記などに出てくる地名をもできるだけ引用することにした。

△難読の語にはつとめて振り仮名をつけた。原文には歴史的かなづかいを用いたが、解説文の中では現代かなづかいを用いることにした。

△本文中に*印のある地名は独立項目として収録されていることを示している。

△本文中に引用の書名には『』をつけた。

△付録として巻末に古典文学碑一覧表、文学地図（万葉地図・平安歌枕地図・芭蕉紀行地図）、人名索引を収録した。

△見開きの「大日本勝景一覧」は日本の東南海上からの鳥瞰図で天保十一年（一八四〇）作。皇都、観水堂井口氏蔵となっており、発行の書林は京師、錢屋惣四郎・東都、須原屋茂兵衛・大阪、秋田屋良介である。

都府県別分類目次

東北地方

青森県(陸奥国)

外ヶ浜……………三三

津軽……………三三

秋田県(羽後国)

象潟……………三三

岩手県(陸中国)

岩手山……………六二

衣川……………一六六

東稻山……………二四〇

平泉……………三三八

宮城県(陸前国)

姉齒……………三二

阿武隈川……………三二

石巻……………六六

浮島……………六四

有耶無耶関……………七四

沖の石……………九三

雄島……………九三

笠嶋……………一〇九

塩釜……………一八一

尿前の関……………一八八

末の松山……………一九七

袖の渡……………二二三

多賀城跡……………二九

武隈……………三三九

千賀の浦……………二四八

榴岡……………二五九

十符……………二六七

名取川……………二九六

野田の玉川……………三三六

籬島……………三六七

松島……………三七三

陸奥山……………三九二

宮城野……………四〇五

山形県(羽前・羽後国)

阿古耶……………六六

板敷山……………四四

大石田……………八一

尾花沢……………一〇三

月山……………二〇

酒田……………六九

新庄……………一九六

袖の浦……………二二三

鶴岡……………二四四

羽黒山……………三三一

最上川……………四七

山寺……………四〇〇

湯殿山……………四三三

福島県(磐城・岩代国)

会津……………一

安積山……………六

安達太良山……………一九

安達ヶ原……………一九

阿武隈川……………二

逢瀬川……………八四

下紐関……………一八八

信夫……………一八九

白河関……………一九三

関東地方

栃木県(下野国)

芦野……………二三

黒髪山……………一五七

黒羽……………一五七

那須……………二九三

日光……………三二一

三鴨山……………三八七

室の八島……………四五

群馬県(上野国)

赤城山……………二

浅間山……………一〇

伊香保……………三三

碓氷……………六八

子持山……………一五

佐野……………一五

沢渡……………一八〇

多胡……………二三三

利根川……………二七四

新田山……………三〇七

須賀川……………一九六
勿来……………二八九
真野……………三八〇

目次

丹生	三〇八	千葉県(下総・上総・安房国)		国上山	一四七
茨城県(常陸・下総国)		海上瀉	三	足柄山	一一
潮来	四	馬来田	三	江の島	七
鹿島	一二	葛飾	一三〇	大山	六〇
霞ヶ浦	一五	香取	一三	小田原	六
久慈川	一四九	周准	一九六	鎌倉	一四
古河	一六二	千葉の野	一五二	小余綾	一五
桜川	一七三	真間	一八一	相模	一七〇
高	二二五	東京都(武蔵国)		鳴立沢	一八六
高浜	二二五	浅草	七	橘	二五
手綱浜	二五五	飛鳥山	一六	鶴ヶ岡	二五
筑波山	二五四	上野	六四	土肥	二六六
鳥羽の淡海	二七六	江戸	六	箱根	三三
那賀	二八一	葛飾	一三〇	走水	三三
浪逆	二九三	品川	一八	二子山	三五九
常陸	三三三	隅田川	二〇三	見越の崎	三八八
男女川	三九六	多摩川	二四二	美奈の瀬川	三九七
埼玉県(武蔵国)		多摩の横山	二四四	諸越原	四一九
入間	五五	佃島	二五四	北陸地方	
葛飾	一〇	深川	三四五	新潟県(越後・佐渡国)	
埼玉	一七〇	武蔵野	四二	出雲崎	四三
秩父	二五〇	矢口	四二	市振	四五
堀兼の井	三六六	山吹の里	四三二	糸魚川(淳名河)	四八
武蔵野	四二	両国	四四三		
				富山県(越中国)	
				阿尾の浦	一
				有磯海	二六
				射水川	五四
				鵜坂川	六六
				卯の花山	七三
				雄神川	九
				片貝川	一八
				黒部川	一五八
				淡谷	一九〇
				多粘	二二
				立山	二二七
				垂姫	二四六
				礪波の関	二七三
				奈具の浦	二九一
				延槻河	三九
				白山	三三〇
				布勢の海	三五六
				二上山	三五八
				古江	三六四
				松田江	三七四

目次

三島野……………	三八九	手結の浦……………	二八六	田子の浦……………	三三三	矢作……………	四三五
婦負の野……………	四二六	角鹿の浜……………	二六〇	天竜川……………	二六六	山梨県(甲斐国)	
荊波の里……………	四二六	敦賀……………	二六四	走湯……………	三三四	甲斐嶺……………	一〇六
石川県(能登・加賀国)		丹生の山……………	三〇九	浜名の橋……………	三三七	酒折宮……………	一六八
香島……………	一二二	後瀬山……………	三三六	富士川……………	三三〇	差出の磯……………	一七四
金沢……………	一三三	白山……………	三三〇	富士山……………	三五一	笛吹川……………	三四四
小松……………	一六四	三方の海……………	三八五	丸子……………	三八三	富士川……………	三五〇
篠原……………	一八九	中部地方……………		三島……………	三八九	富士山……………	三五二
珠洲……………	二〇〇	静岡県(遠江・駿河・伊豆国)		三保の浦……………	四〇一	御坂峠……………	三八八
長浜の湾……………	二八五	吾跡川……………	三〇	焼津……………	四〇〇	身延山……………	三九九
饒石河……………	三〇九	阿倍……………	三三	愛知県(尾張・三河国)		長野県(信濃国)	
能登……………	三二七	伊豆……………	四〇	赤坂……………	二	浅間山……………	一〇
羽咋……………	三三〇	引佐細江……………	五〇	熱田……………	三〇	碓氷……………	六六
白山……………	三三〇	浮島ヶ原……………	五五	年魚市潟……………	三三	宇良野山……………	七四
福井県(越前・若狭国)		宇津の山……………	七二	安礼の崎……………	二八	姨捨山……………	一〇三
味真野……………	一四	有度浜……………	七二	伊良湖岬……………	五五	柏原……………	一三
足羽……………	一六	大井川……………	八二	須佐……………	一九九	木曾……………	一六
有乳山……………	三五	平那……………	一〇〇	高師浜……………	二八	須賀の荒野……………	一六
五幡……………	四六	菊川……………	一五	鳴海……………	三〇六	諏訪の海……………	二〇六
色の浜……………	五六	清見潟……………	一五	引馬野……………	三三	園原……………	二二
鷺の関……………	五五	木枯森……………	一六三	二見の道……………	三六一	千曲川……………	二五〇
氣比……………	一五九	小夜中山……………	一六	二村山……………	三六一	鳥居峠……………	二九
汐越……………	一八二	志太の浦……………	一八	宮路山……………	四〇六	寢覚の床……………	三三
玉江……………	二四〇			八橋……………	四三三	埴科……………	三六

目 次

馬籠	三七一	伊加賀崎	三三	朽木谷	一五〇	比良	三三七
岐阜県(美濃・飛騨国)		伊香	三三	蔵部	一五三	琵琶湖	三三三
射水川	三〇四	不知哉川	三六	己高山	一六三	牧	三六八
大垣	一八二	石部	三九	小松	一六四	松ヶ崎	三七三
泳の宮	一四八	石山	四〇	桜谷	一七三	真野入江	三八〇
位山	一五三	磯崎	四四	塩津山	一八二	三井	三八三
関の藤川	二〇八	犬上	五三	志賀	一八四	三尾崎	三八四
田跡川	二三八	伊吹山	五三	信楽	一八五	三上山	三八七
垂井	二四六	岩根	六一	篠原	一九九	御園	三九三
月吉の里	二五三	打出浜	七〇	菅浦	一九八	三津	三九四
中津川	二八三	畝野	七三	瀬田橋	二〇八	守山	四一九
長良川	二八五	梅原	七四	高島	二一八	野洲	四二一
白山	三三〇	老蘇の森	七六	高田	三三〇	矢橋	四三五
飛騨	三三三	大浦	八三	田上	三三九	揺木の森	四三六
不破	三六四	大津	八四	竹生島	三九〇	余吾湖	四三七
美濃山	四〇〇	息長川	九二	千々松原	三九〇	吉田の里	四三八
席田	四二二	沖ノ島	九三	筑摩	三九七	京都府(山城・丹後・丹波国)	
和射美	四六六	雄琴	九四	土山	三九八	県の井戸	三
近畿地方		小野	一〇一	鳥籠山	三九〇	朝日山	一〇
滋賀県(近江国)		海津	一〇七	長沢池	三八二	足占山	一一
朝妻	九	鏡山	一〇七	長等山	三六七	愛宕山	一八
安曇川	三〇	堅田	一〇八	夏身	三九五	化野	一八
粟津	三〇	蒲生野	一八	野路	三五	天橋立	三三
		唐崎	一三一	比叡山	三八	嵐山	三三

目次

有栖川	二六	大堰川	八〇	霞谷	一六	栗栖野	一五
在原業平塚	二七	大江山	八三	鹿背山	二七	広隆寺	一六
粟田口	三〇	大沢池	八四	桂	二三	久我森	一六
活道	三六	大原	八五	紙屋川	二六	木幡	一六
生野	三七	大原野	八七	龜山	二七	嵯峨	一七
泉	四一	岡屋	九一	賀茂	二七	相樂山	一七
市坂	四二	巨椋池	九三	賀茂川	二九	沢田川	一八
井手	四七	小倉山	九四	高陽院	三〇	静市野	一八
稻荷山	五三	小塩山	九五	河原院	三三	白河	一九
入野	五五	彼方	九七	祇園	三四	墨染	二〇
石蔭	五八	男山	九八	木津川	三八	墨吉	二〇
岩倉	五七	音無滝	九八	北野	三九	清和井(右京区)	二〇
石清水	五七	音羽山(山科)	九八	北山	四〇	清和井(左京区)	二〇
石田	六〇	音羽山(清水)	一〇〇	衣笠	四〇	瀬見の小川	二〇
宇治	六六	小野(山科)	一〇〇	貴船	四三	芹川(伏見区)	二〇
太秦	六九	小野(小野)	一〇一	京	四四	芹川(左京区)	二〇
宇多野	六九	臈清水	一〇四	清滝	四五	大覚寺	二四
梅津	七三	御室	一〇四	清水	四六	醍醐	二五
梅宮	七四	厭離庵	一〇五	咋山	四七	高	二五
瓜生山	七四	柏野	一〇七	草津	四九	高雄	二六
雲林院	七五	鏡山	一〇七	久世	四九	高野	二四
老ノ坂	六八	笠置	一九	恭仁京	五〇	竹田	三〇
逢坂	六八	笠取山	二〇	鞍馬	五四	竹葉山	三一
大荒木の森	八〇	花山	二二	栗駒山	五五	糺	三五

棚倉	二四〇	日野	三三四	耳敏川	四〇二	飛鳥	一五
千代の古道	三五一	日岡	三三三	三室戸	四〇三	阿太	一七
月輪	三五三	氷室	三三七	向日	四〇〇	雷丘	三
筒城	三五八	平野	三三九	紫野	四〇三	斑鳩	三四
梶尾	三六八	広沢池	三四一	辰橋	四〇九	生駒山	三七
常盤	三六九	深草	三四六	諸羽山	四一〇	率川	三六
戸無瀬	三七三	藤生野	三四九	八塩岡	四二二	去來見の山	三八
鳥羽	三七五	藤森	三五四	八瀬	四二三	石上	四三
鞆岡	三七六	伏見	三五四	山崎	四三六	磐瀬杜	五九
鳥部野	三八〇	布当	三五九	山科	四三八	磐余	六三
長岡	三八一	船岡	三六三	夕日の浦	四三一	浮田杜	六五
中川	三八三	堀川	三八七	由良	四三五	宇陀野	七〇
長谷	三八三	榎尾	三八八	与謝海	四三七	宇智野	七〇
名木河	三八九	榎尾山	三六九	吉田	四三八	畝傍山	七三
名古曾の滝	三九〇	榎島	三六九	淀	四四一	大原	八七
檜の小川	三九三	真葛原	三七一	蓮台野	四四四	大峰	八九
雙岡	三九三	増井	三七一	鷺尾	四四六	小倉山	九三
鳴滝	三九四	松ヶ崎	三七三	和束	四四九	忍坂	九五
鷺野池	三九六	松尾	三七六	奈良県(大和国)		越智野	九七
羽束師の森	三九四	御蔭山	三八四	青根峯	一	香具山	一〇八
柞の森	三九七	瓶原	三八六	安騎	四	春日野	一四
比叡山	三九八	水尾	三九一	秋篠	四	春日山	一五
東山	三九〇	美豆	三九三	秋津野	四	葛城山	二六
櫃川	三九四	深泥ヶ池	三九五	朝妻	一〇	片岡	二七

目次

勝間田	一二	高市	三〇	檜隈川	三六	矢田の野	四三
狐路	一三	橋寺	三五	檜原	三六	矢釣	四四
軽	一三	竜田	三六	広瀬川	四一	大和	四〇
神奈備	一四	辰市	三七	伏見	四五	弓月ガ嶽	四三
象	一六	手向山	四四	藤原宮	四五	夢の和太	四四
倉橋	一五	海石榴市	六一	二上山	五七	吉野	四九
栗栖野	一五	壺坂	六三	布留	六三	吉隠	四三
黒髪山	一六	剣池	六五	平群の山	六五	若草山	四四
巨勢	一六	多武峯	六七	真神の原	六八	三重県(伊勢・伊賀・志摩・紀伊國)	
坂田	一六	十市	六八	卷向	七〇	阿漕浦	五
坂手	一六	十津川	七三	益田地	七一	朝熊山	一〇
佐紀	一七	飛火野	七三	待乳山	七五	伊賀の中山	三
桜井(桜井)	一七	跡見	七三	三笠山	八五	五十鈴川	四一
桜井(高市)	一七	富雄川	七三	御金の嶽	八六	上野	六三
佐保	一七	哭沢	七八	水分山	八八	大淀	九〇
猿沢池	一八	夏美の川	九五	南淵山	九七	尾津の崎	九七
島	一九	奈良	一〇〇	三船の山	一〇〇	小野	一〇三
菅原	一九	奈良思岳	一〇三	耳我の嶺	一〇三	神路山	一五
墨坂	二〇	奈良山	一〇三	耳成山	一〇三	桑名	一五八
宗我	二一	丹生川	一〇八	三室の山	一〇四	四泥崎	一八
高円山	二六	西の市	一〇	三宅	一〇六	志摩	一九三
高間山	二六	初瀬	一四	宮滝	一〇七	白子	一五
当岐麻道	二八	壇安の池	一六	三輪	一〇八	鈴鹿	二〇
竹田	三〇	引手の山	三一	六田	一三		

和歌山県(紀伊国)

立石崎	三三七
答志島	三六七
名張	三九八
藤方	三九〇
二見浦	三六〇
円方	三七八
三重の河	三八三
御裳濯川	四〇五
山田の原	四三九
度会	四四八
和歌山県(紀伊国)	
出立	四八
糸鹿山	四九
岩代	五九
大崎	八三
音無川	九八
音無滝	九八
紀伊国	一四〇
熊野	一五一
黒牛	一五八
高野山	一六〇
狭野	一七五
白鳥の関	一九五
白崎	一九六

千里浜	二二〇
玉津島	二四三
名草山	二八九
名高	二九四
那智	二九四
吹上	三二七
藤白	三三三
三柄	三九〇
三名部	三九七
三穂	四〇一
三輪崎	四〇九
室の江	四二五
由良	四三三
和歌浦	四四五
大阪府(和泉・河内・摂津国)	
芥川	五
浅香	六
浅沢小野	八
味経	一四
天の川	三三
安良礼松原	三六
伊加賀崎	三二
出見浜	四八
磐手(大阪市)	六〇

磐手(高槻市)	六〇
畝野	三
江口	五
榎津	七
交野	一九
毛馬	一九
古曾部	一六三
粉浜	一六四
桜井	一七三
敷津浦	一八七
信太森	一八九
住吉	二〇五
高師浜	二一八
高瀬	二二〇
高津	二二三
高浜	二三三
竹原井	二三五
竹淵	二三六
高安	三七
玉造江	四三三
田蓑島	四四五
茅渚	四五一
津の国	四六〇
円江	四六三

津守	四六三
鳥飼	四七九
長柄橋	四八五
長柄の浜	四八六
渚	四八七
名児	四八九
七越山	四九六
難波	四九七
難波江	四九八
伯太	四九九
箱浦	五三三
平野	五三九
吹飯浜	五四八
堀江	五五八
三島江	五五九
御津	五九三
水無瀬	五九五
箕面	五九九
武庫	四〇〇
横野	四四六
淀川	四四三
兵庫県(摂津・丹波・播磨・但馬・淡路国)	
明石	二

目次

芦屋……………	一四	布引の滝……………	三二	神島……………	一五	島根県(石見・出雲・隠岐国)	
有馬山……………	二七	野島……………	三五	吉備の児島……………	一四三	石見の海……………	六二
淡路島……………	二六	野中の清水……………	三八	吉備の中山……………	一四三	飫宇の海……………	八〇
生田川……………	二六	日置……………	三〇	久米の皿山……………	一五三	隠岐……………	九三
生田の森……………	二六	広田……………	三二	玉島……………	一四三	鴨山……………	二九
伊丹……………	二五	藤江……………	三九	瀬磨の郷……………	三三	袖師の浦……………	二一
猪名……………	二〇	二見……………	三〇	能登香山……………	三八	高津……………	三三
印南野……………	五一	二見浦……………	三一	真鍋島……………	三九	高角山……………	三三
入佐山……………	五五	松帆浦……………	三七	虫明……………	四二	栲島……………	三九
絵島……………	七六	真野……………	三七	廣島県(備後・安芸国)		角……………	三五
飼飯の浦……………	一五九	御影……………	三八	厳島……………	四六	斐伊川……………	三五
佐比江……………	一七	湊川……………	三八	風速の浦……………	二二	屋上の山……………	四〇
飾磨……………	一八五	敏馬……………	三八	柄の浦……………	二六	四国地方……………	
須磨……………	二〇一	三原……………	四〇	長門の島……………	二八	香川県(讃岐国)	
高砂……………	二六	室津……………	四四	深津島山……………	四七	狭嶺島……………	一六
垂見……………	二四七	雪の白浜……………	四三	山口県(周防・長門国)		徳島県(阿波国)	
角の松原……………	二六二	夢前川……………	四四	祝島……………	五七	阿波の山……………	三三
長洲浜……………	二八三	夢野……………	四四	磐国山……………	五七	鳴門……………	三〇五
名寸隅……………	二八八	由良の門……………	四六	可太の大島……………	一三〇	高知県(土佐国)	
名次山……………	二九三	輪田……………	四七	熊毛の浦……………	一五〇	土佐……………	二七〇
灘……………	二九三	中国地方……………		角島……………	三六	愛媛県(伊予国)	
鳴尾……………	三〇四	岡山県(美作・備前・備中国)		麻里布の浦……………	三八	熟田津……………	三〇
繩浦……………	三〇七	牛窓……………	六	鳥取県(伯耆・因幡国)		松山……………	三七
西宮……………	三〇			因幡山……………	五〇		